

第110回火山噴火予知連絡会 全国の火山活動の評価

本日、前回の火山噴火予知連絡会（平成20年2月15日）以降の全国の火山活動について検討を行いました。現在までの全国の火山活動の評価は以下のとおりです。

全国の主な火山活動

桜島では、4月8日00時29分に昭和火口で爆発的噴火が発生し、火山活動が活発化するおそれがあったことから、同日、噴火警戒レベルを2から3に引き上げました。以降4月から6月にかけて、弾道を描いて飛散する大きな噴石が5合目まで達するような爆発的噴火を含め、噴火が断続的に発生しました。傾斜計による地殻変動観測では、3月中旬から山頂方向が上昇していると考えられるわずかな変化が続いています。GPSや水準測量による地殻変動観測では、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部へのマグマ注入によると考えられる長期的な膨張が続いています。今後、始良カルデラの地下深部に蓄積したマグマが桜島直下へ多量に移動・上昇した場合には、火山活動が活発化する可能性があります。昭和火口の噴火活動は、2006年6月の噴火以降、本年2月には火砕流を伴う噴火が発生、4月から6月には爆発回数が増加するなど次第に活発化している傾向がみられ、火山活動の推移を引き続き注意深く監視する必要があります。今後しばらくの間、南岳山頂火口および昭和火口から2 km程度の範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石や、火砕流の影響が及ぶ可能性がありますので、引き続き警戒が必要です。

三宅島では、5月8日に山頂火口でごく小規模な噴火が発生し、山頂火口から灰色の噴煙が火口縁上200mまで上がりました。多量の火山ガス放出は当分継続すると考えられます。引き続き、火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想され、火口周辺では噴火に対する警戒が必要です。

各地方の主な活火山の火山活動評価

1. 北海道地方

雌阿寒岳 [噴火予報（平常）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

十勝岳 [噴火予報（平常）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

樽前山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

- ・A火口及びB噴気孔群では高温の状態が続いていますが、火山活動は静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

倶多楽 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

有珠山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)] 平成20年6月9日より有珠山に噴火警戒レベルを導入し、噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)を発表しました。

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

北海道駒ヶ岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

恵山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

2. 東北地方

岩木山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

岩手山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

秋田駒ヶ岳 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

栗駒山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ・6月14日に「平成20年(2008年)岩手・宮城内陸地震」(マグニチュード7.2)が発生しましたが、火山活動には特段の変化はみられていません。6月16日に陸上自衛隊東北方面総監部の協力による上空からの観測でも、山頂北側の噴気地帯に大きな変化はみられませんでした。

吾妻山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

安達太良山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

磐梯山 [噴火予報 (平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

3 . 関東・中部地方、伊豆・小笠原諸島

那須岳 [噴火予報 (平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

草津白根山 [噴火予報 (噴火警戒レベル 1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

浅間山 [噴火予報 (噴火警戒レベル 1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

新潟焼山 [噴火予報 (平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

焼岳 [噴火予報 (平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

御嶽山 [噴火予報 (噴火警戒レベル 1、平常)] 平成20年3月31日より御嶽山に噴火警戒レベルを導入し、噴火予報 (噴火警戒レベル 1、平常) を発表しました。

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

白山 [噴火予報 (平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

富士山 [噴火予報 (噴火警戒レベル 1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

箱根山 [噴火予報 (平常)]

- ・4月4日に一時的に地震がやや増加しましたが、火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

伊豆東部火山群 [噴火予報 (平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火

の兆候は認められません。

伊豆大島 [噴火予報 (噴火警戒レベル 1、平常)]

- ・ G P S、光波距離計及び体積歪計による地殻変動観測では、地下深部へのマグマ注入によると考えられる長期的な島全体の膨張傾向が継続していますが、短期的には 3 月頃から収縮傾向がみられています。
- ・ 火山活動は静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

三宅島 [火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)] 平成20年3月31日より三宅島に噴火警戒レベルを導入し、火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制) を発表しました。

- ・ 5 月 8 日 08 時 32 分頃、山頂火口でごく小規模な噴火が発生し、山頂火口から灰色の噴煙が火口縁上 200m まで上がり、南東に流れるのを観測しました。8 日午前中に行った都道周辺の現地調査では、降灰は認められませんでした。
- ・ 二酸化硫黄放出量は一日あたり 1 千 ~ 3 千トンと、依然として多量の火山ガス放出が続いています。
- ・ 地震活動や地殻変動には特段の変化はみられません。
- ・ 引き続き三宅島では、火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されます。火口周辺では噴火に対する警戒が必要です。
- ・ 多量の火山ガス放出が続いており、風下にあたる地区では引き続き火山ガスに警戒が必要です。また、雨による泥石流にも注意が必要です。

八丈島 [噴火予報 (平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

硫黄島 [火口周辺警報 (火口周辺危険)]

- ・ 地震活動は落ち着いた状態で経過しており、2006 年 8 月以降みられていた島全体が大きく隆起する地殻変動は、2008 年 5 月に入って鈍化しています。
- ・ 硫黄島では火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、従来から小規模な噴火がみられていた領域では警戒が必要です。

福德岡ノ場 [噴火警報 (周辺海域警戒)]

- ・ 変色水が確認されており、小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では警戒が必要です。

4 . 九州地方・南西諸島

九重山 [噴火予報 (噴火警戒レベル 1、平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

阿蘇山 [噴火予報 (噴火警戒レベル 1、平常)]

- ・ 孤立型微動は 2007 年 8 月頃から一日あたり概ね 200 回を超える状態で経過し、2008 年 3 月末から 4 月初めにかけて一時的に 600 回以上に増加しました。4 月 4 日以降はやや減少したものの、引き続き 300 回程度の多い状態で経過しています。

- ・中岳第一火口の湯だまり量は10割の状態が続いていますが、表面温度は2008年5月上旬以降やや上昇し、60 前後で経過しています。中岳第一火口南側火口壁の温度は2007年8月頃から上昇傾向がみられ、引き続き赤熱現象が観測されています。中岳第一火口の熱活動はわずかではありますが上向いています。
- ・火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、火口付近では引き続き火山ガスに対する注意が必要です。
- ・南阿蘇村吉岡（中岳第一火口から西南西約6 km）の噴気は噴出力がやや強く、引き続き噴気活動に注意が必要です。

雲仙岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

霧島山

新燃岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

御鉢 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

桜島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）] 平成20年2月20日に火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）を発表し、噴火警戒レベル3（入山規制）からレベル2（火口周辺規制）に引き下げました。4月8日に火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）を発表し、レベル2（火口周辺規制）からレベル3（入山規制）に引き上げました。

- ・昭和火口では2月3日に爆発的噴火が2回発生したことから、噴火警戒レベルを2から3に引き上げました。しかし、2月6日の爆発的噴火以降、噴火の発生がないことなどから、2月20日に噴火警戒レベルを3から2に引き下げました。
- ・4月8日00時29分に爆発的噴火が発生し、弾道を描いて飛散する大きな噴石が5合目(昭和火口から500～800m程度)まで達し、火山活動が活発化するおそれがあったことから、同日、噴火警戒レベルを2から3に引き上げました。
- ・4月から6月にかけて噴火が断続的に発生し、5～7合目まで大きな噴石が飛散しました。
- ・昭和火口では高感度カメラで捉えられる微弱な火映現象が、4月4日から6月4日まで断続的に認められました。
- ・南岳山頂火口では爆発的噴火が5月20日00時22分に発生しました。この爆発で、弾道を描いて飛散する大きな噴石が6合目(山頂火口から900m程度)まで達しました。
- ・火山性地震及び火山性微動は少ない状態で経過しています。
- ・二酸化硫黄放出量は2008年4月以降増加し、一日あたり1千～3千トンで推移しています。昭和火口から放出されている火山灰の水溶性成分から推定される火山ガス組成に、2008年4月以降大きな変化は認められませんが、高温ガスに特徴的な成分が含まれています。
- ・傾斜計による地殻変動観測では、2月上旬の昭和火口の噴火後、山頂方向が下降したと考えられる変化がありましたが、3月中旬から山頂方向が上昇していると考えられるわずかな変化が続いています。

- ・GPSによる地殻変動観測では、始良カルデラ(鹿児島湾奥部)の地下深部へのマグマ注入によると考えられる長期的な膨張が続いています。今後、始良カルデラの地下深部に蓄積したマグマが桜島直下へ多量に移動・上昇した場合には、火山活動が活発化する可能性があります。
- ・平成19年6月から本年3月にかけて実施された第10回桜島火山の集中総合観測では、始良カルデラ地下のマグマの蓄積が引き続き進行していることが確認されました。
- ・昭和火口の噴火活動は、2006年6月の噴火以降、本年4月から6月には爆発回数が増加するなど次第に活発化している傾向がみられ、火山活動の推移を注意深く監視する必要があります。
- ・今後しばらくの間、南岳山頂および昭和火口から2 km程度の範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石や、火砕流の影響が及ぶ可能性がありますので、引き続き警戒が必要です。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石(火山れき)に注意して下さい。降雨時には泥流や土石流に注意が必要です。

薩摩硫黄島 [火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

- ・硫黄岳火口の噴煙活動はやや活発で、火山性地震もやや多い状態が続いています。
- ・硫黄岳火口周辺では噴火に対する警戒が必要です。

口永良部島 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

諏訪之瀬島 [火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

- ・御岳火口では爆発的噴火が発生したほか、小規模な噴火が時々発生するなど、噴火活動が継続しています。
- ・十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、集落で時々少量の降灰が確認されました。
- ・御岳火口から半径約1 kmの範囲に、弾道を描いて飛散する大きな噴石が達する程度の小規模な噴火が発生すると予想されますので、これらの地域では噴火に対する警戒が必要です。

注) 噴火警戒レベルは平成20年6月23日現在、19火山に導入している。

第110回火山噴火予知連絡会による全国の活火山の火山活動評価結果

(1) 主な活火山(37火山)

地方	火山名	現在 (ここで示すレベルは噴火警戒レベルである)	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
北海道地方	雌阿寒岳	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	十勝岳	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	樽前山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	倶多楽	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	有珠山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2008年6月9日 噴火予報(レベル1、平常)
	北海道駒ヶ岳	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	恵山	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
東北地方	岩木山	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	岩手山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	秋田駒ヶ岳	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	栗駒山	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	吾妻山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	安達太良山	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	磐梯山	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
関東・中部地方・伊豆・小笠原諸島	那須岳	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	草津白根山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	浅間山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	新潟焼山	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	焼岳	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	御嶽山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2008年3月31日 噴火予報(レベル1、平常)
	白山	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	富士山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	箱根山	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	伊豆東部火山群	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	伊豆大島	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	三宅島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 火口周辺警報(火口周辺危険) 2008年3月31日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)
	八丈島	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
硫黄島	火口周辺警報(火口周辺危険)	2007年12月1日 火口周辺警報(火口周辺危険)	
福徳岡ノ場	噴火警報(周辺海域危険)	2007年12月1日 噴火警報(周辺海域警戒)	
九州地方・南西諸島	九重山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	阿蘇山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	雲仙岳	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	霧島山(新燃岳)	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	霧島山(御鉢)	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	桜島	火口周辺警報 (レベル3、入山規制)	2007年12月1日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年2月3日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2008年2月20日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年4月8日 火口周辺警報(レベル3、入山規制)
	薩摩硫黄島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)
	口永良部島	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年1月25日 噴火予報(レベル1、平常)
	諏訪之瀬島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)

注) 噴火警報及び噴火予報の発表履歴は、2007年12月1日以降のものを記載しています。

(2) その他の活火山 (71火山)

以下の活火山では平成19年12月1日に噴火予報 (平常) を発表し、その後、火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

地 方	火 山 名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、摩周、アトサヌプリ、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八甲田山、十和田、秋田焼山、八幡平、鳥海山、鳴子、肘折、蔵王山、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方 及び伊豆・小笠原諸島	高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、アカンダナ山、乗鞍岳、利島、新島、神津島、御蔵島、青ヶ島、ペコネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、西之島、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方 及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山

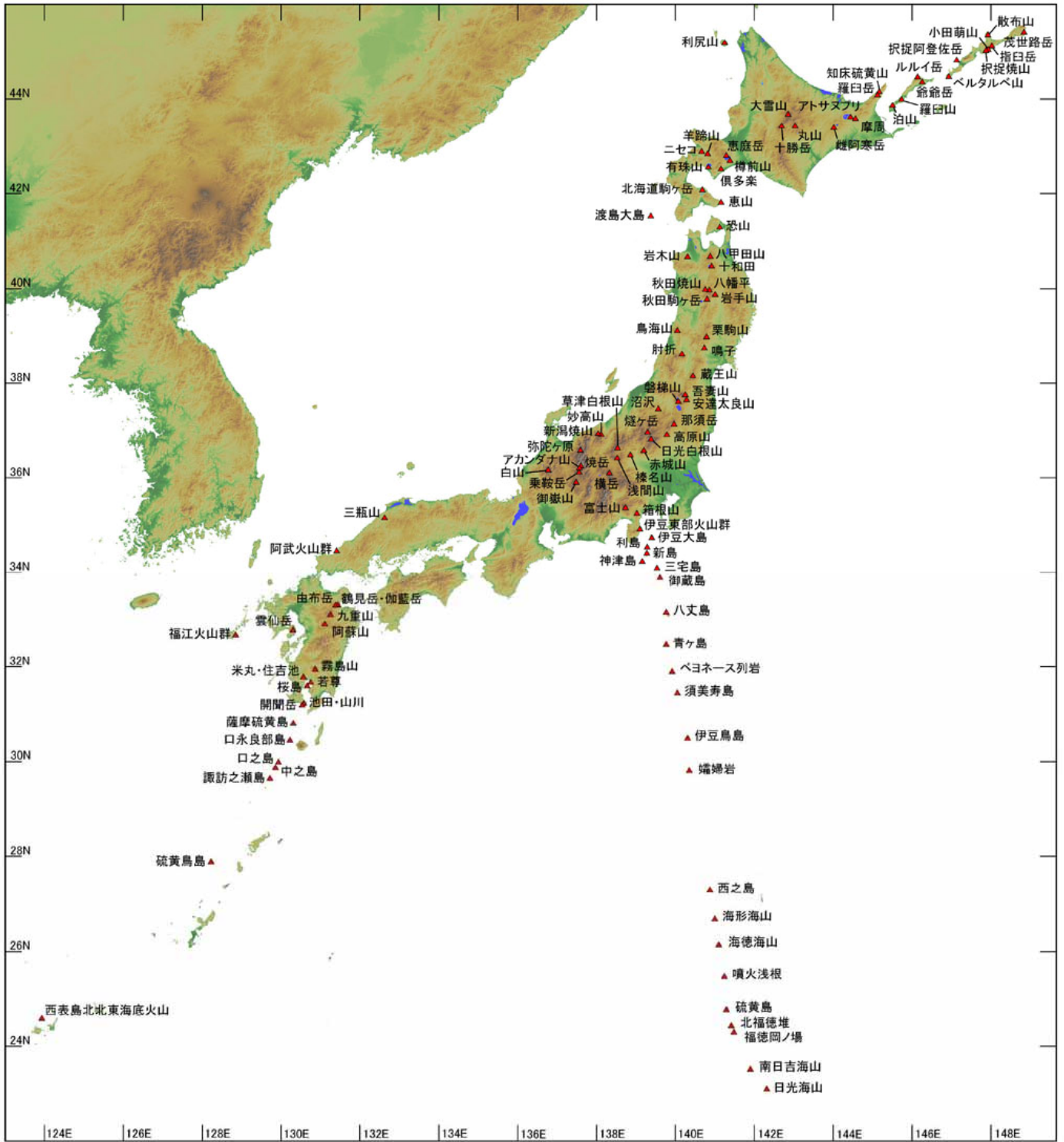




写真 11 5月20日21時00分
高感度カメラ

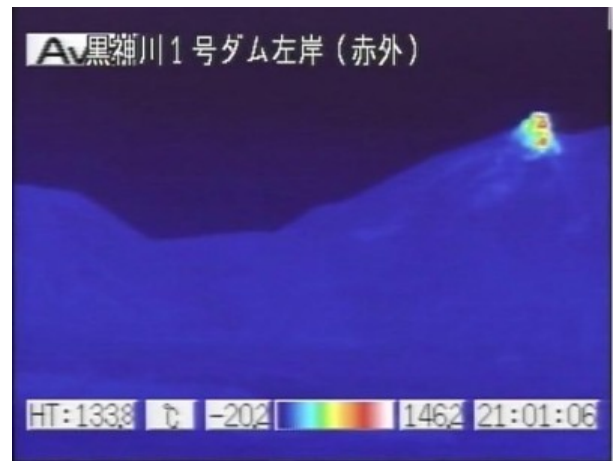


写真 12 5月20日21時00分
赤外熱映像装置



写真 13 5月20日21時01分
高感度カメラ

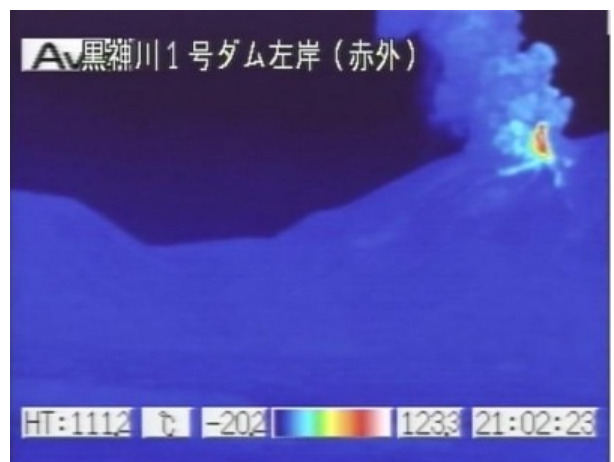


写真 14 5月20日21時01分
赤外熱映像装置



写真 15 5月20日21時03分
高感度カメラ

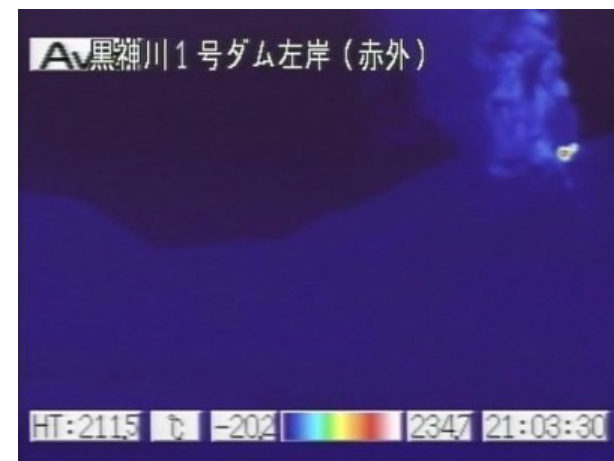


写真 16 5月20日21時03分
赤外熱映像装置

図 5 桜島 昭和火口 5月20日21時00分の爆発的噴火の高感度カメラと熱赤外映像装置での比較

- ・噴煙高度 2,000m、大きな噴石 6 合目まで飛散した。
- ※高感度カメラ赤外熱映像装置及びは大隅河川国道事務所設置
- ※赤外熱映像装置の温度レンジは、自動切換

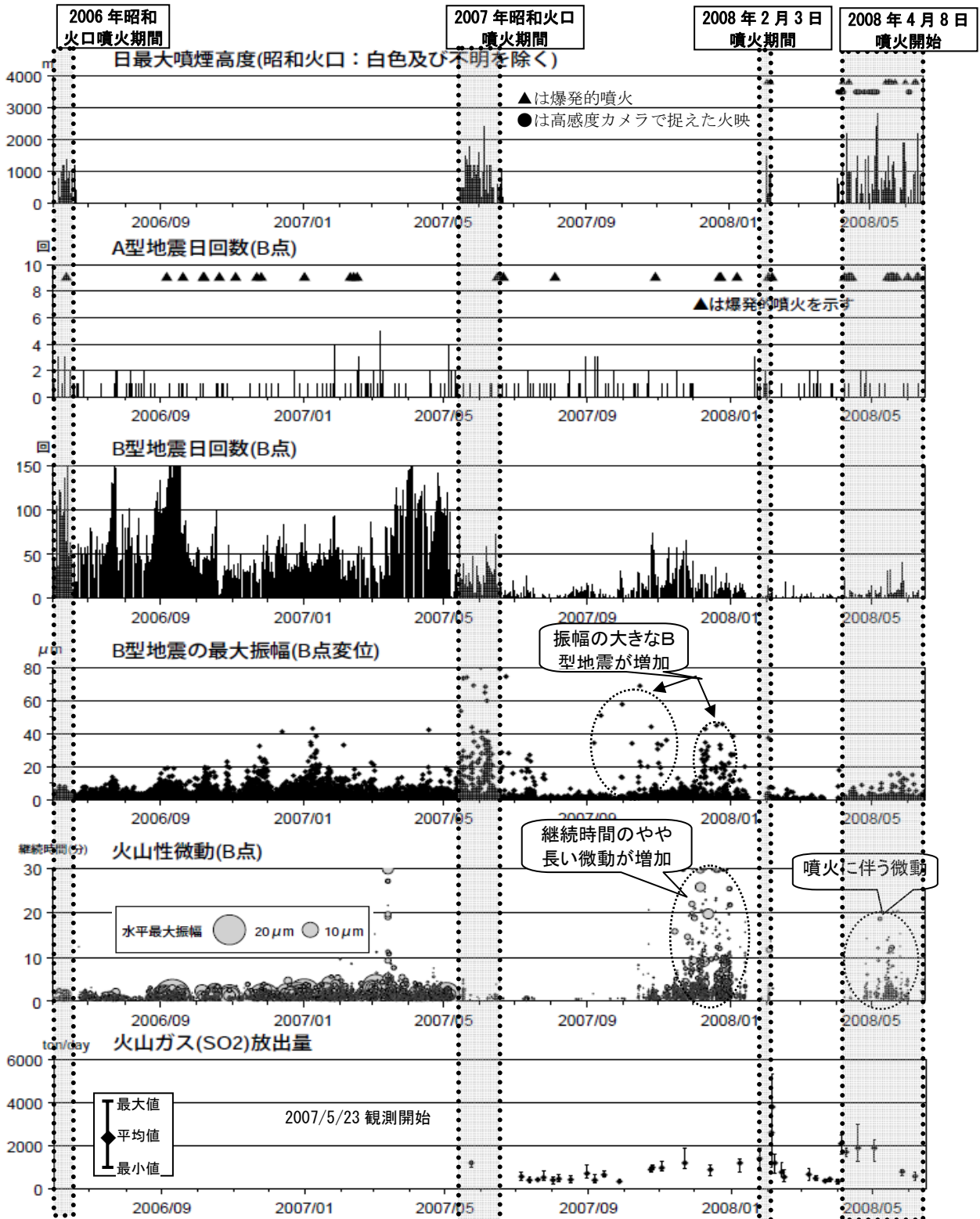


図 13 桜島 最近 2 年間の噴煙・地震・微動・火山ガスの状況 (2006 年 6 月 1 日～2008 年 6 月 15 日)

- ・昭和火口で 2 月に 2 回、4 月に 6 回、5 月に 10 回、6 月に 15 回爆発的噴火が発生した。
- ・B 型地震は少ない状態で経過した。振幅も小さいものであった。
- ・火山性微動は、少ない状態で経過したが 5 月 5 日以降、継続時間が 60 分を超える噴火に伴う微動が、時々発生した。何れも振幅は小さなものであった。
- ・昭和火口では 5 月 8 日からの噴火に伴い、最高で火口上 2,800m の噴煙を上げた。
- ・南岳山頂火口では 5 月 20 日に爆発的噴火が発生した。
- ・二酸化硫黄の放出量は、2 月 4～7 日では一日あたり 3,000 トン前後で経過し、その後一日あたり 500 トン前後に減少したが、4 月 4 日頃から再びやや増加し、一日あたり 1,300～3,000 トンで推移している。

* 領域は昭和火口からの噴火期間を示す。

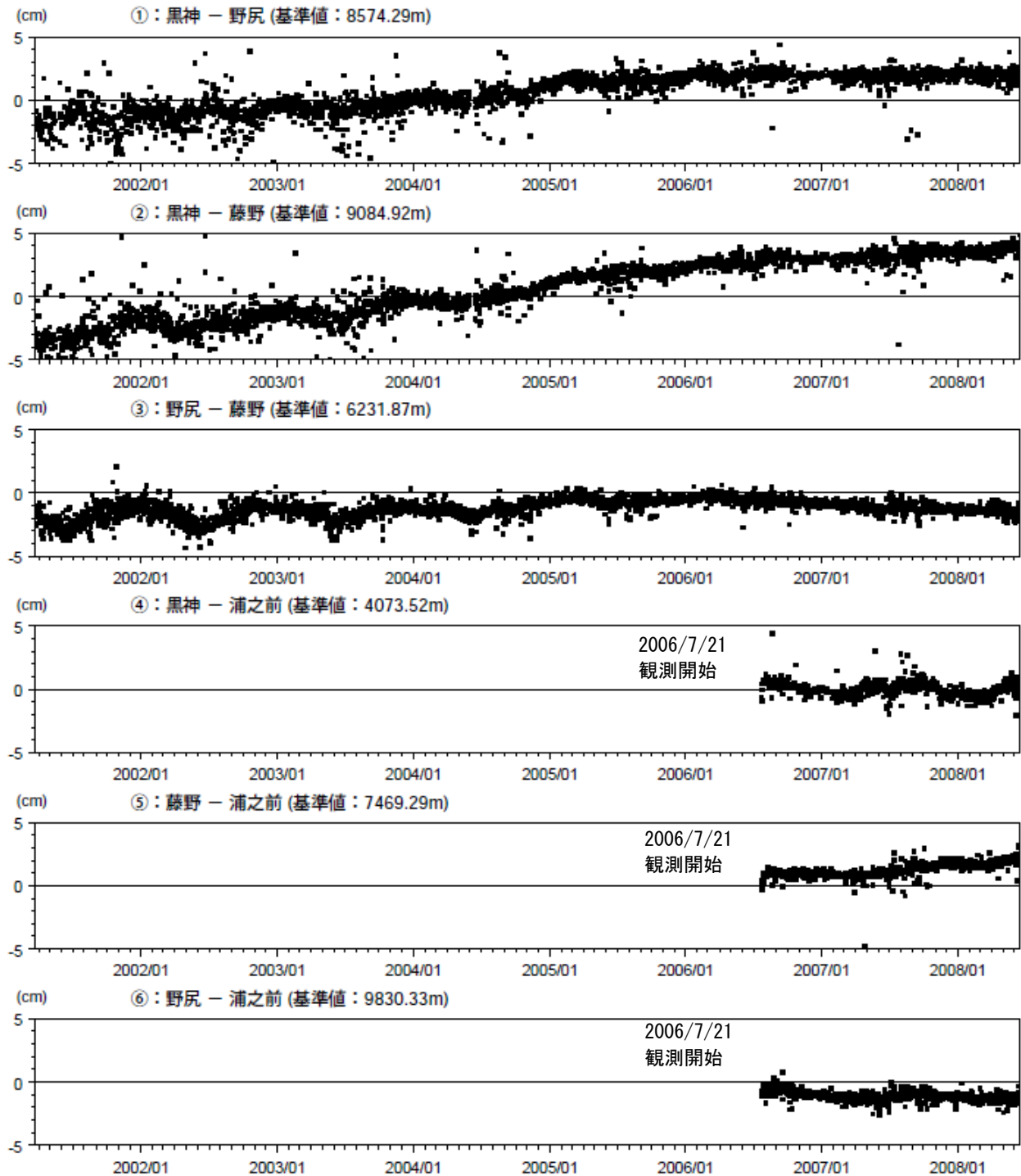
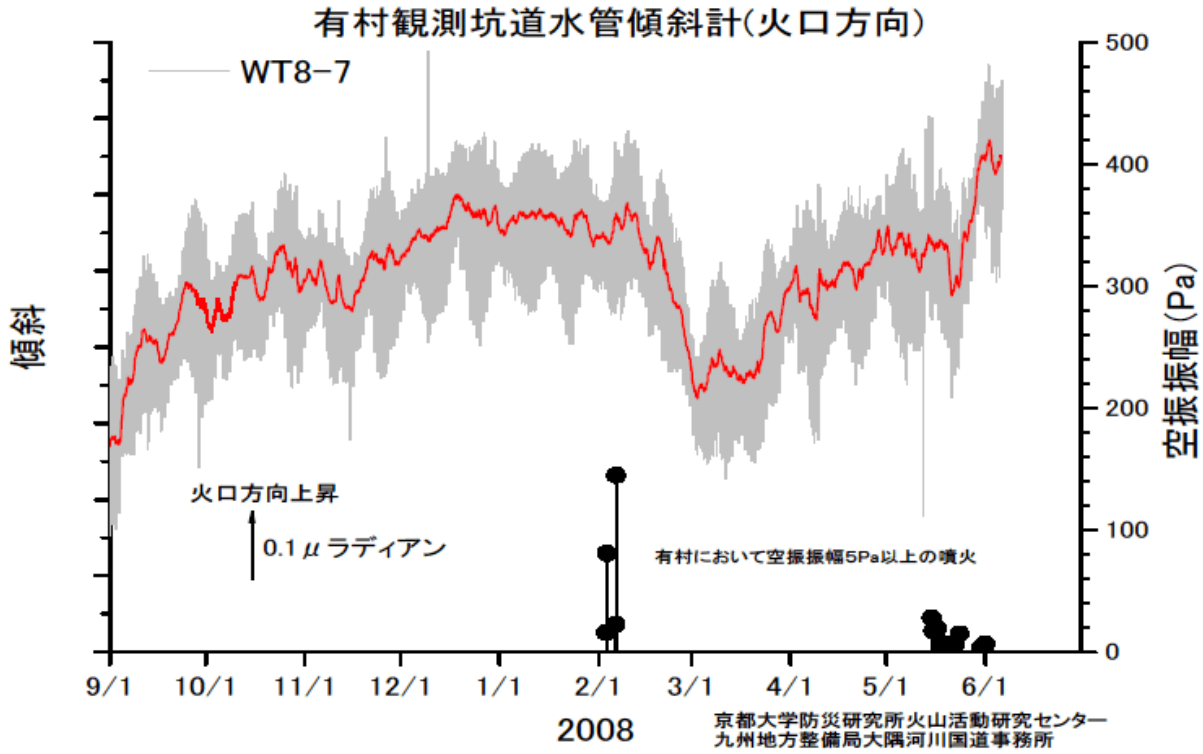


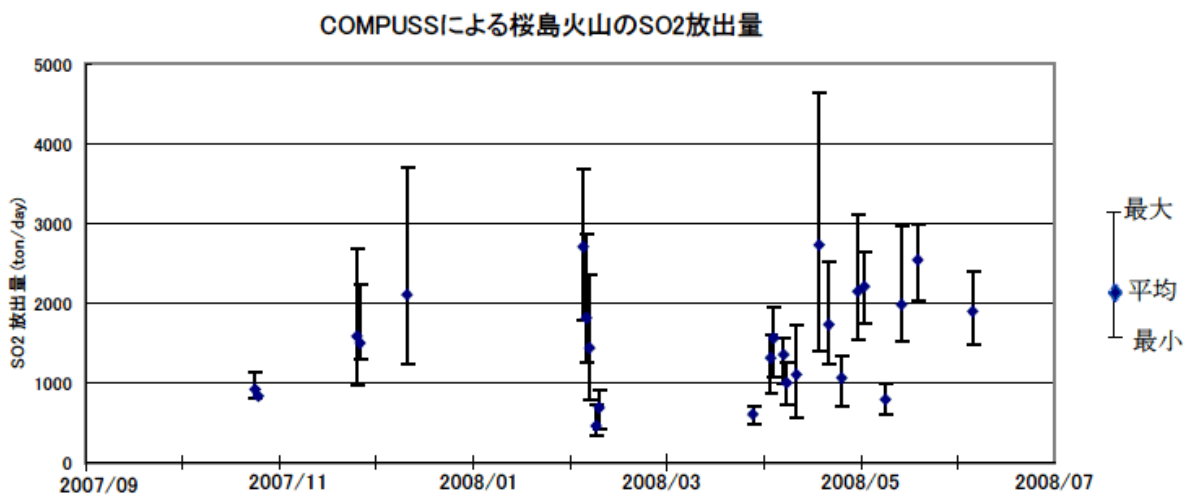
図 18 桜島 GPS による基線長変化 (2001 年 3 月 22 日～2008 年 6 月 15 日)
GPS 連続観測による地殻変動観測では、短期的には桜島島内の伸びの傾向はやや鈍化しているように見える。

- * 基線長変化グラフの空白部分は欠測
- * ④～⑥は 2006 年 7 月から観測開始。

桜島有村観測坑道の傾斜変動と空振振幅



SO₂ 放出量 (ton/day)



桜島

桜島



図 2 三宅島 山頂火口からの噴煙の状況

2008 年 5 月 8 日：山頂火口東側から撮影、坪田（三宅島空港）遠望カメラによる。

表 1 三宅島 2001 年以降の噴火リスト^{注)}

	日時	噴煙			震動波形	空垂	備考
		高さ	色	流向			
2001	1	01/01/11 10:38	800	灰白色	東	不明	
	2	01/03/19 06:48	800	灰白色	南西	低周波地震	07:40頃まで継続。前日午後は低周波地震群発状態
	3	01/05/27 05:05	×(雲)	灰白色	東	低周波地震	あり
	4	01/05/27 06:04	1,200	灰白色	東	低周波地震	あり
	5	01/06/03 06:34	700	灰白色	南東	低周波地震	あり
	6	01/06/10 19:25	500	灰白色	東	低周波地震	あり
	7	01/06/13 02:29	×(雲)		(東)	低周波地震	あり
	8	01/06/24 20:12	×(雲・夜)		(西)	低周波地震	あり
		01/06/24 22:34	×(雲・夜)		(西)	低周波地震	あり
	9	01/07/10 06:38	500	灰白色	南西	低周波地震	
	10	01/07/10 08:23	500	灰白色	南西	低周波地震	
	11	01/07/18 17:42	×(雲)	灰白色	北東	低周波地震	あり
	12	01/09/26 11:32	1000	灰白色	東	低周波地震	
	13	01/09/27 21:28	1000	灰白色	北西	低周波地震	あり
	14	01/09/27 23:04	800	灰白色	北西	低周波地震	あり
	15	01/09/28 05:28	800	灰色	北東	微動	あり
	16	01/10/11 03:34	×(雲)		東	微動	あり
	17	01/10/11 09:02	100未満	灰白色	東	なし	火口縁に降灰するのを確認
	18	01/10/16 07:22	1500	灰色	北西	微動	あり
19	01/11/01 12:32	800	灰白色	北東	低周波地震	あり	
2002	1	02/01/23 12:34	200	灰白色	東	低周波地震	あり
	2	02/02/21 17:37	300	灰白色	東北東	低周波地震	あり
	3	02/03/02 05:53	×(雲)	灰白色	北西	低周波地震	あり
	4	02/03/02 06:12	×(雲)	灰白色	北西	低周波地震	あり
	5	02/03/31 06:03	800	灰色	北東	微動	あり
	6	02/04/02 10:02	300	灰白色	東	低周波地震	あり
	7	02/04/03 10:41	200	灰白色	北東	低周波地震	あり
	8	02/04/16 06:00	×(雲)		北東	低周波地震	あり
	9	02/06/15 16:19	500	灰白色	北東	低周波地震	あり
	10	02/08/01 17:42	×(雲)		東	微動	あり
	11	02/09/16 05:10	×(雲)		南西	不明	
	12	02/10/08 14:51	200	灰白色	東	なし	空港カメラに火山灰が少量付着
	13	02/11/24 13:16	×(雲)		南～南西	低周波地震	あり
2004	1	04/11/30 07:46	300	灰色	東	低周波地震	あり
	2	04/12/02 16:45	600	灰色	南西	低周波地震	あり
	3	04/12/7 15～ 04/12/8 06	×(夜間)		(東)	低周波地震	あり
		04/12/09 06:16	×(雲)		(西南西)	低周波地震	あり
2005	1	05/04/12 04:45	×(雲)		(南西)	低周波地震	あり
	2	05/05/18 02:41	200	白色	(北)	低周波地震	あり
2006	1	06/2/17 22:38～ 06/2/17 23:34	300	白色	(東～ 東南東)	低周波地震	あり
	2	06/08/23 04:28	500 700	灰色 白色	南東	低周波地震	あり
2008	1	08/01/07 06:54	300	灰色 白色	南東	やや低周波地震	あり
	2	08/05/08 08:32	200	灰色	南東	低周波地震	あり

注) 遠望カメラで有色噴煙を観測したもの、又は山麓で降灰を確認したものに限り。

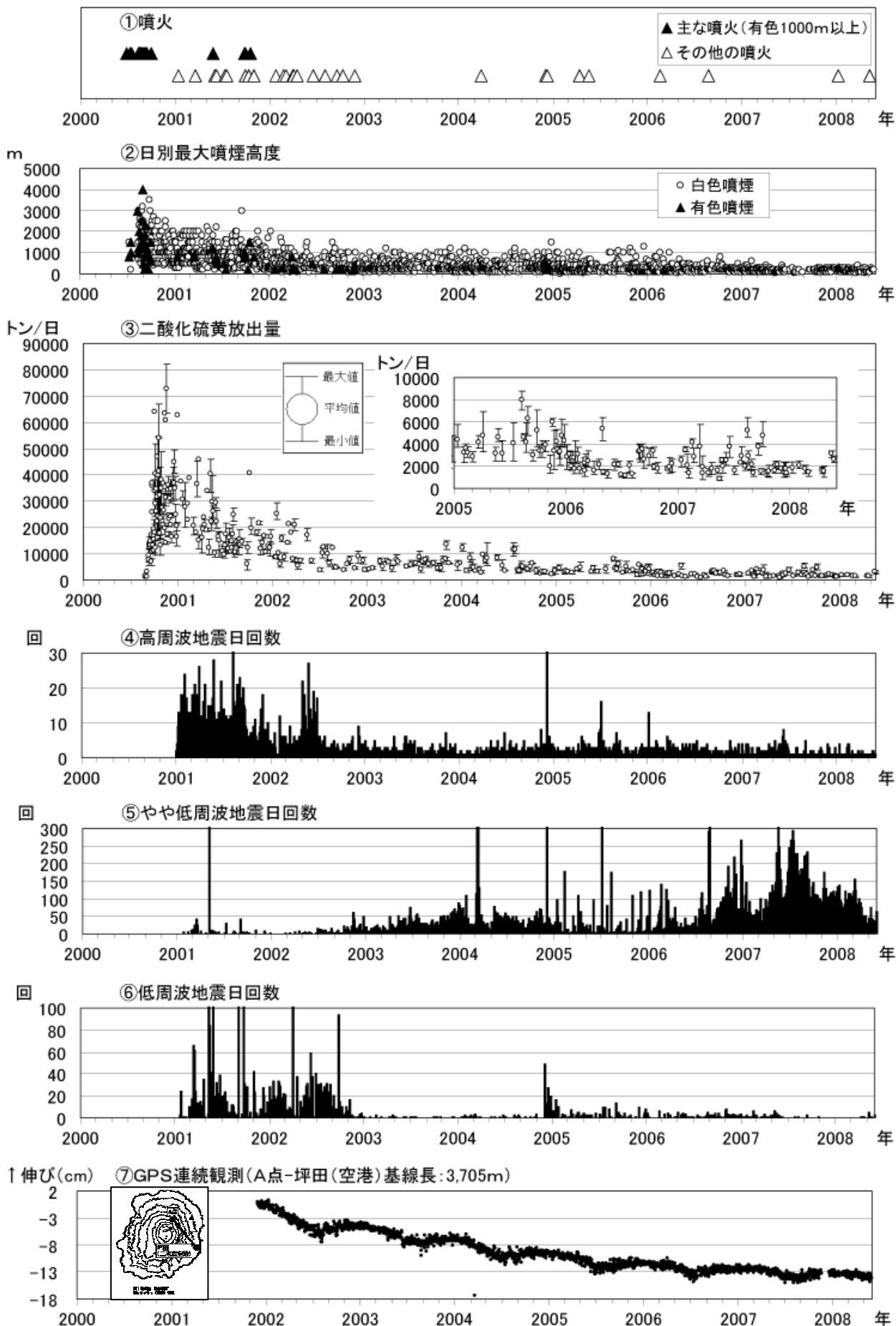


図 3 三宅島 火山活動経過図(2000年1月1日~2008年5月31日) 次頁に注釈あり